

平成26年度 特定非営利活動に係る活動予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 健成会柔道塾

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	150,000	
賛助会員受取会費	300,000	
法人会費	300,000	750,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	200,000	200,000
3 受取助成金等		
受取助成金		
4 事業収益		
(1) 青少年の健全育成・地域活性化を図る事	1,400,000	
(2) 柔道の発展のための教育研究活動事業収	50,000	
(3) 日本の伝統文化を守り、グローバルな人	50,000	1,500,000
を育成するための柔道を通じた国際交流事業収益		
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収入（N S S 振替手数料）	50,000	50,000
経常収益計		2,500,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	190,000	
退職給付費用		
福利厚生費		
人件費計	190,000	
(2) その他経費		
会議費	50,000	
旅費交通費	500,000	
会場使用料	1,500,000	
減価償却費	0	
印刷製本費	20,000	
講師謝金		
その他経費計	2,070,000	
事業費計		2,260,000
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計		0
(2) その他経費		
通信運搬費	10,000	
広告宣伝費	50,000	
諸会費	20,000	
備品費		
消耗品費	20,000	
N S S 手数料	30,000	
慶弔関係費	10,000	
会議費	10,000	
水道光熱費	0	
地代家賃	0	
減価償却費	0	
旅費交通費	50,000	
雑費	0	
その他経費計	200,000	
管理費計		200,000
経常費用計		2,460,000

			40,000
III	当期経常増減額 経常外収益 1 固定資産売却収入	0	
IV	経常外収益計 経常外費用 1 固定資産取得支出	0	
	経常外費用計	0	
	税引前当期正味財産増減額		40,000
	法人税、住民税及び事業税		0
	前期繰越正味財産額		2,250
	次期繰越正味財産額		42,250

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。
(重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。)
- 6 管理費の支出規模(管理費の合計)は、総支出額(事業費及び管理費の総計)に占める割合の2分の1以下であることが必要。(事業費>管理費)
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)